

日本MOT学会

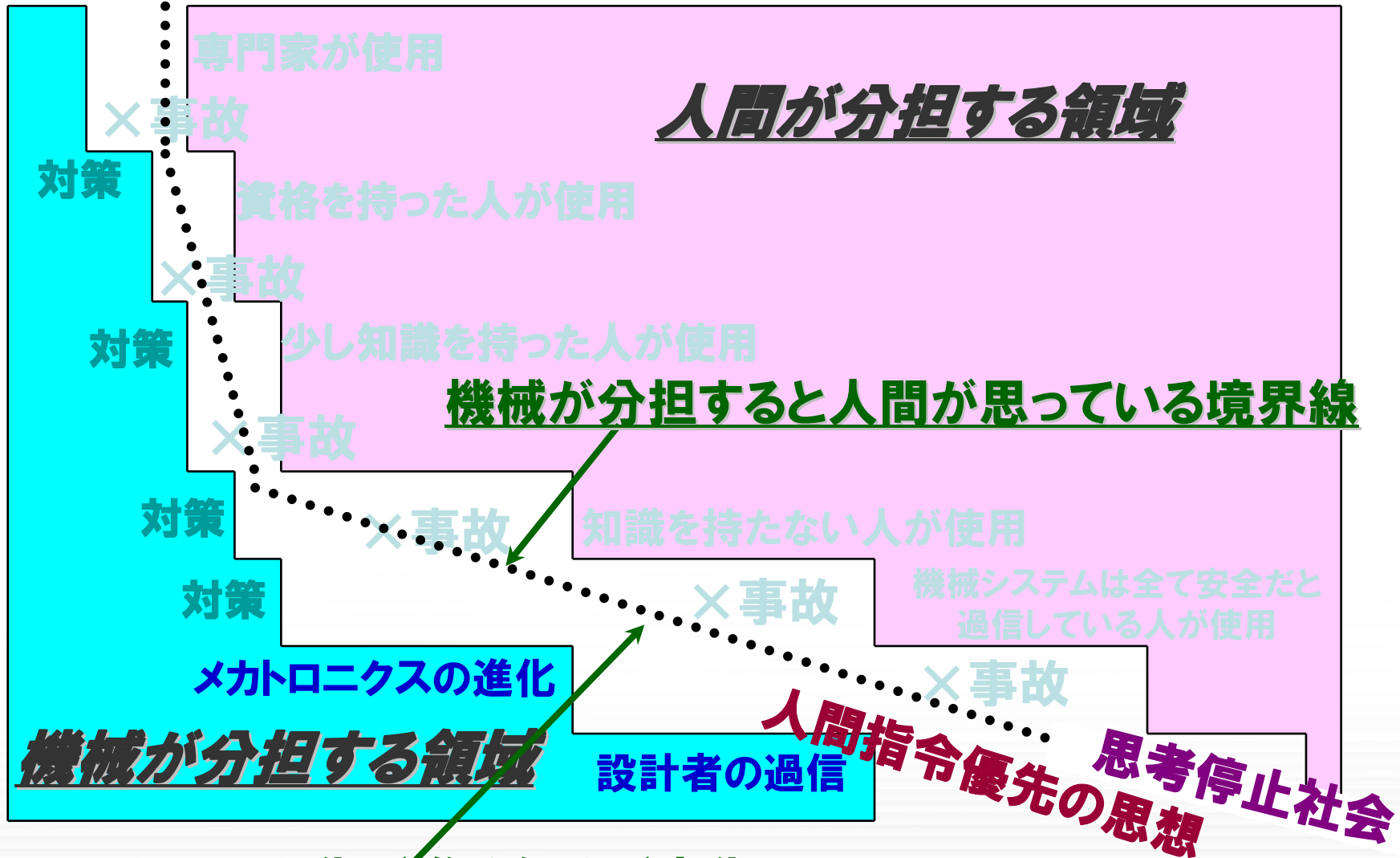
人間介在型制御システムにおける 安全マネジメント研究会

研究会企画案

2013/3/23

人間と機械システムの分担領域の変化

昔
その昔
現代 ← 時代の流れ



メカトロニクス化が進み傾きが変化

真に安全な社会とは？

「安全マネジメント」の質が問われる時代

正確なハザードの抽出と安全要求の明確化

安全リスクの評価とリスクの回避方策 遭遇頻度

製品システム利用者教育のありかた(保守管理)

万一の事故が発生した場合の危険負担に関する

社会的合意形成

安全マネジメント(リスクマネジメント)



研究会企画（案）

自動車の運転支援システム，要介護者向けの介護、介助等のサービスロボットなど，人間介在型制御システムへの社会的要請は益々強まりつつある。そのようなシステムの安全を確保して，より快適で利便性が高く、信頼されうる製品とサービスの早期市場形成を図るため，正確なハザード分析，安全要求定義の明確化といったシステム設計上の問題と，さらに利用者教育のありかたや万一の事故発生時の危険負担に関する社会的合意形成など，広範な問題を検討してゆく必要がある。

本研究会では，品質の安全リスクマネジメント研究会の二年間にわたる研究成果を継承し，ハザード分析や安全要求定義のためのツールの開発及び製品安全のリスク評価に基づいた保険や認証といった日本ではまだ成熟していない社会的な危険負担システムの在り方について研究を行う。

当研究会には，こうした製品開発の設計者，危険負担の制度設計に関心のある保険，認証，検査，事故査定の関係者などの参加を広く求める。

研究形態：産学協働

アドバイザー：長岡技術科学大学 三上 喜貴 教授

研究会幹事：日産自動車（株）TCSX 村上裕一

研究テーマリーダー：会員より選出

研究会員の公募：20名弱

応募締め切り：締め切り2013年7月中 随時参加者募集

研究会議：1回/月程度

研究会場：日産自動車グローバル本社@横浜 TV会議も可能

参加資格：日本MOT学会会員及び研究趣旨賛同者

**参加費用：無料 実際の研究活動実務費用は自己負担を原則
日本MOT学会からの研究補助金申請予定**

研究期間：2年間を目標とする

研究成果：1年後に解説論文を発表 2年後に研究論文を発表

論文掲載誌：日本MOT学会論文誌（「技術と経済」誌）

研究日程案

	2013/3 -6	2013/7-12	2014/1-3	2014/4-12	2015/1-3
大日程			研究成果1次まとめ ★	総会報告 ★	研究成果2次まとめ ★
企画案批准	企画委員会 ★	総会報告承認 ★			
研究チーム編成		研究会メンバー公募 → ★ 幹事選出チーム編成			
研究プロジェクト		キックオフ ★	★	★	★
			研究成果中間まとめ →	総会報告まとめ →	研究成果まとめ →
アドバイザー評価会		研究の方向性確認 →	研究評価 →	研究評価 →	研究評価 →